社協だより なかつ

10月号 2026 no.96













〒871-0021大分県中津市沖代町1丁目1番11号　中津市教育福祉センター内
代表 TEL0979-24-4294　FAX0979-24-7682　https://www.nakatsu-s.or.jp/

令和８年10月号　第96号
発行元：中津市社会福祉協議会

中津のまちをよくするしくみ

赤い羽根共同募金がはじまりました

八十周年
ありがとう。これからも一緒に。

10月1日▶12月31日

赤い羽根共同募金は、子どもたちや高齢者、障がい者などを支援する様々な福祉活動に使われています。
私たちが住む中津市で募金をすると、その大切なお金は中津市内の活動の支援に使われます。
赤い羽根共同募金は『じぶんの町を良くしたい』という意志のある募金です。
物価高騰等により厳しい経済状況が続いていますが、今年も市民の皆様のあたたかいご支援・ご協力をお願い申し上げます。



令和８年10月　大分県共同募金会　中津市共同募金委員会　会長　白井　辰彦

【令和7年度募金総額】

13,261,769円

赤い羽根共同募金　7,614,790円
歳末助け合い募金　5,646,979円

いろいろな募金方法があります



募金箱で　街頭で　学校から
ご家庭から　自動販売機で
職場から　店舗から　グルメ募金で

個別募金は、各地区の自治委員会に、
企業募金は、民生委員会にご協力を頂いています。

令和7年度の募金の使い道（一部紹介）

住民主体の小地域支え合い活動支援



身近な地域の中で、高齢者から子どもまで誰でも立ち寄れる場として実施しているサロン活動を支援しています。
市内78ヶ所で、住民同士の交流・関係づくり・介護予防を目的に実施形態は様々です。

福祉教育推進事業「わいわい福祉ひろば」





「福祉教育」として、市内近郊の視覚、聴覚、肢体の障がい者及びボランティア、高齢者の皆さんが、市内の小学校に出向き、生活体験の講話や疑似体験学習を通し、障がい理解・高齢者理解等の福祉意識の啓発を図っています。
令和7年度は、市内小学校18校で57回開催し、児童・保護者1,940名の参加がありました。

福祉啓発イベントの開催



『シン・みんなのふくしまつり』と題し、さまざまな「ふくし」をテーマに、市内のボランティア団体、学校、店舗などの協力を得て、子どもから大人まで楽しめるイベントとして開催。
令和7年度の参加者数　約900名

福祉・ボランティア団体活動支援

福祉・教育・環境等、様々な分野で地域づくりにつながる活動を行なうボランティア団体・福祉団体等に対し、支援しています。

福祉機器等貸出事業

在宅で生活する高齢者や障がい者に対して、介護機器（電動ベッド・車いす）を貸し出し、要介護者及び介護者の介護負担を軽減し、在宅生活の支援を行なっています。

その他

〇寝たきり高齢者見舞品配布
〇認知症の理解促進
〇障がい者社会参加支援
〇災害支援・生活困窮者食料支援

令和9年度「一般公募助成」団体募集!

令和9年度の活動助成金を希望する団体の募集を行ないます。

募集期間 ： 令和８年10月１日㈭～令和９年１月29日㈮

助成金額 ： 上限20万円（対象事業経費の５分の４以内）



毎年、市民の皆様にご協力頂いている**「赤い羽根共同募金」配分金**を財源とした助成事業を実施しています。「一般公募助成」とは、中津市内で福祉活動を行なう団体・グループが実施する**『地域における福祉の発展につながることを目的とした事業』**に対して助成を行なうものです。

助成対象事業の例

- **在宅生活をする高齢者や、障がい児（者）の社会参加につながる事業**
- **子どもの育成や子育て家庭への支援を目的とする事業**
- **地域づくりのための地域防災事業　　など**

子どもから高齢者まで多世代がつながる交流をしたい！



障がいのある方の社会参加や生きがいづくりにつながる活動をしたい！



住民同士の助け合いをテーマに、地域防災の研修をしたい！



助成を受けるためには申請が必要となりますので、上記の期間内に申請書を提出してください。
様式は、中津市社協のホームページに掲載しています。
対象となる団体や事業などの詳しい内容については、下記までお問い合わせください。

【お問合先】中津市社協　地域支援課　地域活動支援係 TEL：0979-23-2095

令和7年度 事業報告（主な取り組み）

地域の担い手づくり

「支え合いスキルアップ塾」として、様々な地域支え合い活動で活躍する人財の育成を目的とした講座（全6回）を開催し、介護保険制度のことやレクリエーションの手法、車いすの扱い方など、具体的・実践的な内容を通じて、地域の支え合い活動に役立つ知識を身につけました。




これからボランティアを始めたい人やボランティアへの理解を深めたい人を対象にボランティア入門講座「ボランティアはじめよう！」を開催し、ゲームやグループワークを通じてボランティアや地域福祉について楽しく学びました。




地域のつながりづくり

地域子育て支援拠点として、毎週木曜日（長期休暇は除く）に、三光児童館にて「子育てひろば」を開催し、年間で447人の方々にご利用いただきました。また、耶馬溪地区では月1回「ともだちひろば」を開催し、地域に根差した子育て支援や子育て世帯のつながりづくりの場となっています。




地域福祉ネットワーク協議会同士のつながりづくりを目的に地域福祉講座「“協働”から広がる地域づくり」を開催しました。中津市青年会議所と小楠・沖代の協議会が一緒に取り組んだ「外国の方々との環境美化を通じた交流事業の紹介」など、地域の中だけでなく、いろいろな団体と共に手を取り協力することで広がる取り組みがあることを改めて感じる機会となりました。



地域の場づくり

ひきこもり支援事業「かいと」として、家以外に行ける場所や居場所をつくりたい・・・そんな想いから、ご本人がホッとできる場所づくりやご家族がおしゃべりできる家族交流会を行なっています。

【かいとの居場所】
◎毎週水曜日13:30～15:00
◎中津市教育福祉センター
◎出入り自由
◎見学だけでもOK
【家族交流会】
◎年2回
◎家族の方を対象に、癒しのひと時になる場、情報を得る場、同じ立場の人同士の気軽なおしゃべりの場として行なっています。



地域包括支援センター社協では、介護予防に大きく寄与している週一体操教室の開拓に努めました。令和7年度は新たに5ヶ所が開設し、担当する三光～山国地区で23ヶ所となり、市内でも最も多い圏域となっています。今後も生活圏域での取り組みを主に、課題に応じた場づくりを実施・支援していきます。




災害にそなえた防災力の向上

“佐賀関大規模火災から『協働』を考える”をテーマに協働減災塾を開催しました。佐賀関大規模火災での実際の支援体制の構築や地域のつながりを切らない生活再建へのサポートや全国的に被災地・者支援の仕組みづくりについて、これまでに起こった災害やその後の支援についてのお話をいただきました。
中津市内での火災発生を想定したグループワークでは、多くの意見があり、たくさんの学びを得る機会となりました。



養護老人ホーム中津市豊寿園において、福祉合同訓練（大分県福祉避難所連携体制構築支援事業）として、地域の社会福祉施設と合同訓練を実施しました。
防災活動においては「顔のみえる関係づくり」が重要です。地域のつながりや信頼関係を強化することで、災害発生時の迅速かつ効果的な対応が可能となりコミュニティ全体の防災力を向上させることが期待されます。



継続的かつ安定的なサービス提供の取り組み

人口減少、高齢化が進む中、社協が担う在宅福祉サービス・施設運営は重要な役割を果たす必要があります。山間地域においても、一人ひとりの生活を守っていくためにも、継続的かつ安定的なサービス提供を目指すべく、効率的なサービス提供体制や人材確保の取り組みを始め、地域とのつながりを推進し開かれた施設運営の推進を行ないました。



やすらぎ荘（下郷保育所慰問）



ふくしのお仕事相談会



中津市唯一の訪問入浴事業

生きがいにつながる多様な参画機会の充実

社会的孤立を防ぎ、気軽に参加できる場として、南部地区支え合い推進員による「シニアほっと元気ステーション“よりあ”」や山国で始まった「あんしん宅配事業」では、移動困難な高齢者も社会とつながりを持てるように、「訪問型」のサロンを開始しました。また、三光地区では、男性の社会参加の場として、「おっちゃん’sくらぶ」を開催しました。



シニアほっと元気ステーション“よりあ”

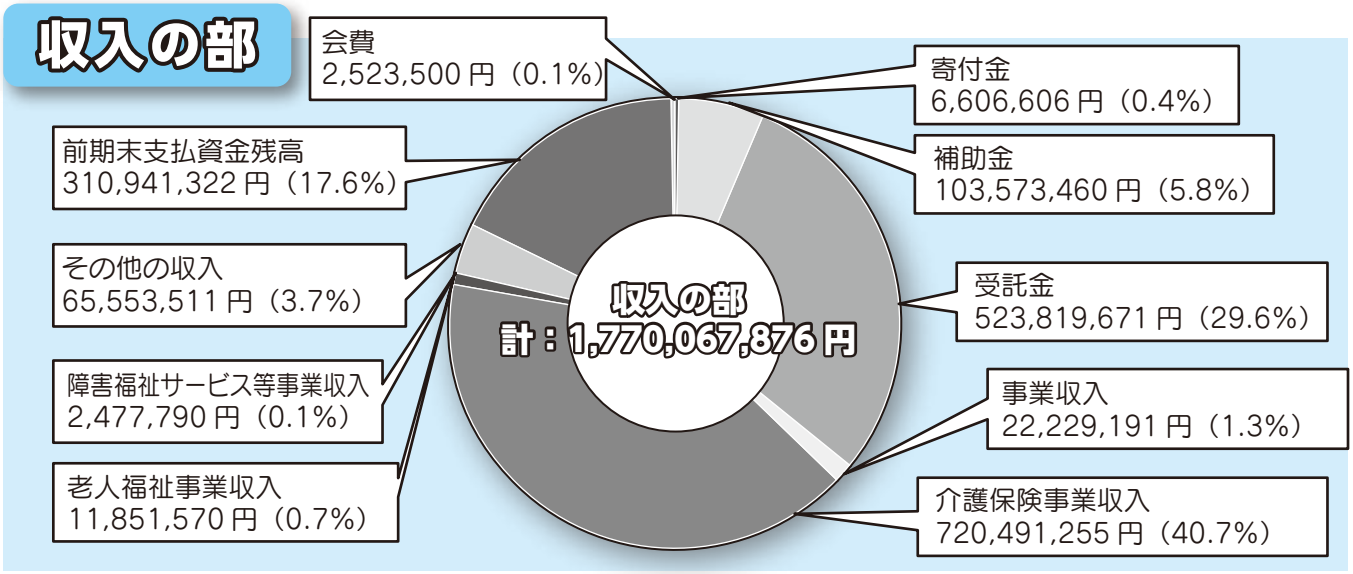


あんしん宅配事業



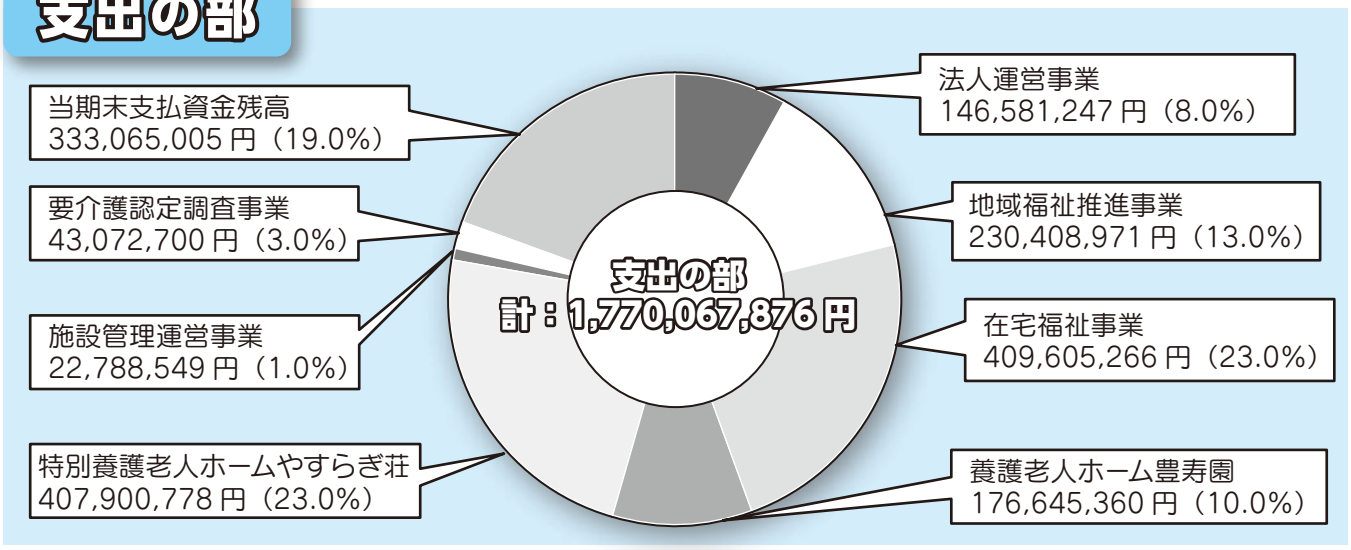
令和７年度　中津市社会福祉協議会 決算報告

収入の部



会　　費	社協一般会費、特別会費	介護保険事業収入	在宅介護や施設介護による収入
寄 付 金	香典返し、個人・団体からの一般寄付、物品寄付	障害福祉サービス等事業収入	障がい者の在宅福祉サービスにかかわる事業収入及び利用料収入
補 助 金	市からの補助金収入	老人福祉事業収入	措置事業における事業収入
受 託 金	市や大分県社協からの受託事業の収入	そ の 他 の 収 入	繰越金、その他の活動収入

支出の部



法 人 運 営 事 業	法人の管理運営費	やすらぎ荘事業	特別養護老人ホームの運営
地域福祉推進事業	地域福祉ネットワーク支援、各種相談援助事業、広報啓発	豊 寿 園 事 業	養護老人ホームの運営
在 宅 福 祉 事 業	児童館、児童クラブ、デイサービス、ホームヘルプ、訪問入浴、居宅介護支援、生活支援ホーム・ハウス、障がい福祉サービスなど	施設管理運営事業	教育福祉センター、本耶馬渓総合福祉センター、耶馬渓介護研修センター、山国社会福祉センター　その他施設管理
		要介護認定調査事業	介護保険の認定調査事業

「住み続けたい」「住んでよかった」と思える地域に向けて

第5次中津市地域福祉計画・地域福祉活動計画作成中！

６月から市内15地区で、開催されている地域の今後について考える住民会議。世代も生活状況も違う皆さんが集まり、誰にとっても住みやすい地域に向けて話し合いを重ねています。

ステップ1 住んでいる地域について語ろう！



市内 15 地区ごとに、『わいわいサミット』を開催。
「誰にとっても住みやすい地域」について、自由におしゃべりしました。現役高校生が参加してくれた地区もありました。

ステップ2 出た意見を整理してみよう！



ステップ１で出たさまざまな意見を整理し、住みたい地域に向けて必要なことは何かなどの地域課題を明らかにしました。また、第４次地域福祉活動計画を振り返りました。

ステップ3 目標を立て、取り組みを決めよう！



現在進行中です。
地域福祉活動計画づくりは地区ごとの住民の方々での話し合い、市が取り組む地域福祉計画づくりは、市や関係機関の話し合いとに分かれて進められています。



今津中学校では、中学校からの希望で、中学生のみなさんもわいわいサミットを行ないました。

わいわいサミットで出た住みたい地域像の例（一部）

- だれにでも挨拶しあえる地域
- 多世代・住民同士の交流の場がある
- 支え合い・見守り体制がある
- 障がいのある人、外国の人など、多様性を認め合い、共生できる地域社会
- 安心できる子育て環境
- 子どもの見守りがあり、安全な環境
- 移動手段の充実
- 多世代が楽しめる娯楽施設の充実
- 道路・交通環境が整備されている
- 防災活動があり、安心して住める
- 買い物しやすく、商業が発展
- 医療の充実
- 困った時に相談しやすい
- 若者の定着
- 働ける場の確保
- 祭りなどの地域行事の維持
- 田畑や山などの自然がある



第１回　計画策定委員会のようす

計画づくりの方向性について、様々な団体、機関の方からご意見をいただく場として開催しています。

第５次中津市地域福祉計画と
第５次中津市地域福祉活動計画の完成は、
令和８年度末を予定しています。

第５次計画についてのお問い合わせは、
中津市役所　福祉政策課
TEL 0979-62-9800
中津市社会福祉協議会
TEL 0979-23-2095

夏休みにたくさんの体験と感動を！　～中津市三光児童館～

三光児童館わいわい夏まつり２０２６

７月、今年で4回目となる“三光児童館わいわい夏まつり2026”を開催しました。

今年は、“こどもたちに様々な体験をして楽しんでもらいたい”という思いから、夏まつりのコーナーの１つである“体験コーナー”に、現代のこどもたちの中でもなじみのあるベイブレードや、昔の遊びである竹馬・竹ぽっくり作り、ミニ四駆体験を設けました。当日は来場者数387名と賑わいをみせ、それぞれのコーナーで嬉しそうに遊びを楽しむこどもたちの笑顔がたくさん見られました。







【ご協力いただいた団体・個人】※順不同、敬称略
・三光地区地域福祉ネットワーク協議会ふくしの里“ややま”・三光校区民生児童委員協議会・三光中学校・三光地域おこし協力隊・森山地区有志の方々・中津市母子推進員・中津市ファミリーサポートセンターまかせて会員・宇佐産業科学高校・中津ワンチーム・くろねこパン・NPO法人まど・NPO法人三保の杜作業所・北部小学校PTA・Mr.マロン　ご協力ありがとうございました。

九州市光工業“ひかり食堂”

７月、九州市光工業株式会社(三光森山)へ工場見学に行きました。同社は今年３月から社会貢献を目的に社員食堂を利用して、こども食堂「ひかり食堂」を始めています。

工場見学では、普段なかなか見ることが出来ない大きな機械やロボットが自動車のランプを作る作業を前に、好奇心あふれる子どもたちの姿が見られました。たくさんの学びを得た後は、「ひかり食堂」で美味しい食事とかき氷を食べ、「お腹いっぱい」と大満足の様子でした。









ファミリー・サポート・センターのご案内

子育て世代のみなさま、子育てを応援したいみなさまへ

ファミリー・サポート・センターでは、「育児を手伝ってほしい人」（おねがい会員）と、「育児を手伝いたい人」（まかせて会員）が、会員となって地域で助け合いをしています。

まかせて会員養成講習

日程：令和８年11月20日（金）９：00～16：30
場所：中津市教育福祉センター（沖代町１丁目1-11）
対象：中津市在住又は勤務で、健康で積極的に参加できる20歳以上の人

【お問合・お申込先】
中津市社協　福祉サービス課（中津市三光成恒421-1）
☎０９７９－２７－７７１５
📱０８０－８５６１－０１５４
（ショートメールでも受付可能です）

会員大募集！



『まかせて会員』になるには養成講習の受講が必要です。

「休日なら活動できそう」
「家の近くなら朝の登校支援ができそう」
「講習を受けてみたい」など、大歓迎！
ぜひ講習会にご参加ください。

中津市ボランティア・市民活動センターだより
～この夏ボランティアを始めた皆さんが、大活躍しました！～

ボランティア入門講座～「やってみたい」がスタートだ！～



７月に、**「令和8年度ボランティア入門講座～やってみたいがスタートだ！～」**を開催し、14名の方が参加しました。講師に夢こらぼ主宰の松尾やよい氏をお迎えし、“なぜボランティアをするの？”という疑問から、ボランティアをするときの心得まで、グループでの交流を交え、お話をしていただきました。

＜参加された方の感想＞
- たくさんの方と知り合えてよかった
- ぜひボランティアに参加したい
- 機会があれば参加したい
- グループワークが楽しかった

夏のボランティア体験月間2026

７月下旬から８月末にかけての夏休み期間中、**「夏のボランティア体験月間」**を実施しました。この取り組みはボランティア活動への積極的な参加を促進し、県内におけるボランティア活動の振興を図ることを目的として、毎年行なっています。

今年も市内の福祉施設やボランティア団体など34か所がボランティアの受入れ先となり、中学生から社会人まで243名の方が参加されました。



＜参加された方の声＞
- 大変だったけど、相手からエネルギーをもらった。
- たくさんの経験ができて、成長することができた。
- これからも常に周りを見て手助けできるようにしたい。
- 今後、人と関わる中で積極性を持ち、相手に合った対応ができるよう考えていきたい。

中津市ボランティア・市民活動センター は、「ボランティアしたい人」と「ボランティアしてほしい人」をつなぐ役割を担っています。また、ボランティア情報の収集や発信、活動をする人や団体の支援なども行なっています。

ボランティアに関することは何でも、お気軽にご相談ください！（お問合先：0979-23-2095）

研修会・講座報告

互いの活動を知って、よりよい地域づくりを！

7月、「令和８年度住民型有償サービス団体マネージャー研修」を開催しました。今回の研修は住民型有償サービス団体と居宅介護支援事業所が連携しやすい関係づくりをすることを目的としており、住民型有償サービスのマネージャー12名と介護支援専門員（ケアマネジャー）32名が参加しました。

中津市介護支援専門員協会の高西保行氏に介護支援専門員の業務について説明をしていただき、社協から住民型有償サービスについての説明を行ないました。グループワークでは、お互いの業務や活動内容についてや今後の連携のあり方など、活発な意見交換が行なわれていました。中津市社協では今後も、地域に関わる様々な方や機関との連携を図れるような場を作っていきます。

たくさんのご参加、ありがとうございました！！







趣味を通じて、仲間づくり！





8月、小楠コミュニティーセンターで「“男塾”珈琲講座～夏を彩る極上の一杯～」を開催し、18名の方にご参加いただきました。この講座は男性の社会参加を後押しするため、令和元年より実施している人気のボランティア養成講座です。講師にはこの講座を最初からご指導いただいている「喫茶CRAFT」マスターの奥村哲生さんをお招きし、本格的なアイスコーヒーの淹れ方を手ほどきしていただきました。

初参加の方もリピーターの方もすぐに打ち解け、各テーブルではコーヒーの香りとともに笑い声や歓声が上がっていました。講座終了後も受講生の皆さんは会話が尽きず名残惜しそうにされており、同じ趣味を持つ仲間同士の温かい交流の場となりました。



また、講座の中でボランティア活動のご案内をしたところ、多くの方に前向きな反応をいただきました。11月開催の「シン・みんなのふくしまつり」では、早速“珈琲ボランティア”としてイベントを盛り上げていただく予定です。



子ども若者支援のこれからを考える





８月、教育福祉センターにて『令和８年度なかつ子ども若者応援ネットワークフォーラム』を開催し、学校関係者や支援機関、行政など、日頃から子ども若者に関わる関係者を対象に38名の方にご参加いただきました。「子ども若者の生活課題、居場所」をテーマに、子ども若者を取り巻く現状や居場所の在り方について意見を交わし、共有しました。

参加者同士が顔の見える関係をつくり、子ども若者が安心して暮らせる地域について、それぞれの立場からともに考える機会となりました。今後も継続して開催していきます。



「子ども若者応援ネットワーク」とは…

中津市内における子ども若者（概ね15～25歳）の孤立防止と社会的自立の促進を図ることを目指し、教育・福祉・医療等関係者が分野を超えて情報共有・支援調整を行うことで子ども若者にとって暮らしやすい地域社会構築を目指すネットワークです。

なかつひきこもりサポーター スタッフミーティング



ひきこもり支援事業を推進するため、『なかつひきこもりサポータースタッフミーティング』を今年度から開始しています。

ミーティングでは、ひきこもりの方が安心して過ごせる居場所づくりや、家族交流会、「なかつ版ひきこもり支援サポートスタッフ」の輪を広げる取組について意見を交わしました。また、孤立を防ぎ、必要な情報や支援が必要な人へ届くよう、地域のつながりを大切にした支援のあり方について話し合いました。今年度は４～５回程度開催予定です。

※サポーターの育成は現在大分県が行なっています。

自分の想いをつなげよう





７月、教育福祉センターにて「令和8年度市民後見推進研修会」を開催し、55名の方にご参加いただきました。研修では、「なかつ市民後見人の会“らいとふる”」による詩の朗読劇で始まり、その後、田渕あづさ氏によるカードゲーム「人生これから100年ゲーム」を通じて、自分が大切にしたいことについて考えました。

後半では司法書士の高瀬忠通氏から「自分の想いを繋げよう」と題し、遺言・相続について、○×クイズや事例を交えながらご講演いただきました。

今回の研修を通して、自分の想いを見つめ、これからの人生で、大切な人へどのように想いを繋いでいくかを考える機会になりました。

ユニバーサルな中津市に・・・

多様な人が暮らしやすい

「障がい」という言葉についてどのようなイメージを持ちますか？

地域にはいろんな人が生活しており、心身の状況により、暮らしづらさ（障がい）を抱えている人たちがたくさんいらっしゃいます。

今回、中津市で、長年、障がいのある人が暮らしやすいように活動してきた「中津市身体障がい者協議会」について、事務局長の奥山裕子さんにお話を伺いました。

中津市身体障がい者協議会について



◆中津市身体障がい者協議会の歴史

昭和25年に発足し、76年になります。最初は「中津市身体障害者協生会」として、肢体・視覚・聴覚・知的な障がいのある方同士で支え合うことを目的に始まりました。例えば、車いすの方を聴覚障がいの方が介助したり、視覚に障がいのある方のガイドを足が少し不自由な方が行なったり・・・。支え合うことで地域社会への啓発の意味も込められていました。また、当時、会を支えていた皆さんは、生活に必要な「仕事の場」を確保するために障がいのある方が働ける場をつくったりもしました。今の「真珠園」がそうです。

他には、ボランティアの人たちの協力による交流イベントを積極的に行なってきました。その後、平成17年の市町村合併をきっかけに、中津市全体の会「中津市身体障がい者協議会」（以下。協議会）が誕生しました。現在、協議会は、視覚障がい、聴覚障がい、肢体障がいなど障がい別の会で構成され、それぞれの活動も活発に行なわれています。



◆これまでの取り組みの中で印象に残っているものは？

障がいのある人を支援するボランティアグループ（中津手話サークル「さつき」やアイメイト中津きさらぎ会など）ができた30～40年前頃が、障がいのある人とボランティアとが交流する行事が盛んな時期でした。「ふれ愛運動会」、「タンデムサイクリング大会」「ひまわり号」「ふれあいコンサート」など、いろんな行事がありました。これらの行事を通じて障がい理解が広がったと感じています。

◆現在は主にどのような活動をされていますか？

障がい別の会があるので、それぞれの活動の他、全体での情報共有の会議を月に１回行なっています。また、ボッチャや卓球バレーなど５種目のパラスポーツの振興にも取り組んでおり、定期的に練習もしています。

最近では協議会が協力している「中津市共生社会推進事業」の取り組みがあり、12月には「トレチャッタ」という行事を実施します。

◆今後に向けて一言

市内には、協議会の他に、障がいに関わる取組をしている団体があります。それらの団体の横のつながりができるようになったらと思っています。

ユニバーサルたんけん隊
トレチャッタ

（令和８年度中津市共生社会推進事業の取り組み）

障がいの有無にかかわらず、行きたいところに楽しく出かけられる・・・そんな社会を目標に行なわれるイベントです。



日時：令和８年12月20日(日)
内容：貸し切り臨時列車に乗って、門司港に小旅行
募集対象：障がいのある人、ボランティア
参加費：1,000円（食事代等は別）
問合先：ユニバーサルたんけん隊事務局
090-4993-7567（村岡）

支え合い推進員&スタッフ養成講座

地域の活動に興味がある方や人と関わることが好きな方、一緒に地域づくりについて学びませんか？



地域での支え合いの大切さや地域づくりについて学び、今後の地域づくりに関わる人材を育成する、全６回の講座です。

参加者募集中！（10/16締切です）

第1回：10月24日（土）「いくつになっても元気に暮らすコツ」
第2回：10月31日（土）「知ってナルホド！介護保険のあれこれ」
第3回：11月14日（土）「高齢者の付き添いのポイント/中津市の高齢者サービス」
第4回：11月28日（土）「レクリエーションでコミュニケーション！」
第5回：12月 5日（土）「認知症の方の尊厳を守り、地域で共に生きる」
第6回：12月19日（土）「支え合いの地域づくり～私たちにできること～」



※全日10：00～12：00、会場は中津市教育福祉センターです。

お問合・お申込先　中津市社協 地域支援課 地域活動支援係
TEL：0979-23-2095

講座・イベント情報

まんぷくnicoキッチン&パントリー



「こどもも、おとなも、おなかいっぱいnicoにこ笑顔になってほしい☺」という思いから、今年も開催いたします！

○日　時　令和８年**12月25日（金）**
○場　所　中津市教育福祉センター
○内　容　・nicoキッチン（カレーライスのふるまい）
17：30～19：30（19：00受付終了）
※当日先着150食
・フードパントリー（食品の無料配布）
9：00～19：00
※事前予約制/先着80世帯



昨年の様子

＊フードパントリーの予約開始日は12月上旬を予定しています。
＊詳しくは本会ホームページをご覧ください。

お問合・お申込先　中津市社協 生活支援課 自立相談支援係　TEL：0979-26-1237

寄付金品について

市民皆様のあたたかいご芳志に感謝申し上げます

※令和8年5月1日から8月31日までの受付分を掲載しています。

香典返し

■中　津

◇岩　久　美　紀　様（故　輝　嘉　様）湯屋　金一封
◇岩　野　吾　作　様（故　テイ子　様）今津　金一封
◇山　中　幸　子　様（故　徳　生　様）永添　1万円
◇豊　永　惠美子　様（故　新城としゑ　様）上宮永　1万円
◇朝　吹　トヨ子　様（故　忠　史　様）永添　金一封
◇小　畑　　晃　様（故　征　子　様）大悟法　金一封
◇宇都宮　大　地　様（故　精　一　様）金谷　金一封
◇吉　本　芳　彦　様（故　美代子　様）上如水　1万円
◇坪　根　光　宏　様（故　節津子　様）中央町　金一封
◇髙　野　房　子　様（故　良　信　様）上宮永　3万円
◇堀　田　貞　幸　様（故　イト工　様）上如水　金一封
◇川　合　孝　春　様（故　慶　子　様）沖代町　金一封
◇岩　丸　礼　子　様（故　柳太郎　様）今津　3万円
◇深　蔵　庸　夫　様（故　池田イヅミ　様）鍋島　金一封

■三　光

◇宮　本　文　雄　様（故　スミ子　様）田口　金一封
◇平　野　多津子　様（故　昌　宏　様）下深水　金一封
◇菊　池　玲　子　様（故　武　夫　様）土田　金一封
◇岩　渕　信　文　様（故　武　子　様）諫山　金一封
◇金　丸　フサ子　様（故　和　美　様）原口　金一封
◇光　根　美代子　様（故　新　二　様）下深水　金一封
◇江　河　憲　子　様（故　良　和　様）田口　金一封
◇木　津　佑　介　様（故　尾藤幸子　様）田口　金一封

■本耶馬渓

◇小川内　弥　生　様（故　勝　美　様）樋田　金一封
◇髙　倉　享　子　様（故　宏　祥　様）跡田　金一封
◇小　川　禎　範　様（故　絹　子　様）折元　金一封
◇武　吉　利　清　様（故　ミドリ　様）東谷　金一封
◇中　尾　真　美　様（故　御座岡正浩　様）東屋形　金一封
◇西　　直　人　様（故　千代香　様）折元　金一封

■耶馬渓

◇川　本　勝　敏　様（故　一　水　様）川原口　金一封
◇藤　谷　顕　謙　様（故　利　太　様）大島　金一封
◇梅　木　敏　子　様（故　治三郎　様）大島　10万円
◇小　野　利　和　様（故　萬　次　様）金吉　金一封
◇間　所　直　政　様（故　質　　様）平田　金一封
◇金　山　アキ子　様（故　忠　也　様）柿坂　10万円
◇山　﨑　徳　生　様（故　米　子　様）戸原　金一封
◇廣　次　利　彦　様（故　静　子　様）金吉　金一封

■山　国

◇藤　原　登美香　様（故　博　　様）中摩　金一封
◇橋　本　　務　様（故　スミ子　様）守実　金一封
◇平　井　征　子　様（故　高　義　様）宇曽　金一封
◇山　﨑　裕　次　様（故　アヤ子　様）中摩　金一封
◇森　岡　正　信　様（故　ヤエ子　様）中摩　金一封
◇荒　木　国　弘　様（故　博子　様）宇曽　3万円
◇西　郡　勝　美　様（故　あい子　様）平小野　3万円
◇井　上　富　子　様（故　集　　様）平小野　金一封
◇水　谷　アツ子　様（故　信　也　様）中摩　金一封
◇吉　峯　敏　昭　様（故　フサエ　様）中摩　3万円
◇井　元　増　恵　様（故　昭　　様）中摩　金一封

■その他

一般寄付

■中　津

◇中津経済クラブ　様　260,000円
◇弁護士法人 清源法律事務所　様　金一封
◇株式会社 なかつ空き家管理サポート　様　金一封
◇中津沖代ライオンズクラブ　様　金一封

■山　国

◇西郡　スミヱ　様　金一封

一般寄付品

■中　津

◇TOTOファインセラミックス㈱　様
防災用ビスケット(24ヶ入り)9箱

■山　国

◇西郡　スミヱ　様　手作りあられ

※掲載内容については寄付者ご本人の意思確認により掲載させて頂いています。

寄付・寄贈の使い道について

寄付にあたって、その使い道は『一般』と『指定』に分けられます。

◇一般：広く、柔軟に、地域福祉の現状のニーズに沿った活動等に配分します。

◇指定：寄付・寄贈者が指定した特定の社協が行なう事業（デイサービス・ホームヘルパー・特別養護老人ホーム等）に配分します。


【災害支援】


【ボランティア支援】


【地域活動支援】



中津経済クラブ　様



株式会社なかつ空き家管理サポート　様



中津沖代ライオンズクラブ　様



TOTOファインセラミックス株式会社　様

フードバンクnicoからのお知らせ

物価高騰の影響により、支援を必要とされる方が増えています。その一方で、現在、フードバンクnicoでは食品の在庫が大変不足しています。

毎月25日（にこ）に実施している「フードドライブ」へのご協力をお願いいたします。

ご家庭で眠っている未開封の食品や、防災備蓄の入れ替えで余った食品などがありましたら、無理のない範囲でお持ちください。**あなたの支援が、誰かの希望につながります。**

皆さまの温かいご協力を、どうぞよろしくお願いいたします。

※食品以外（生活用品等）のご寄付については別途ご相談ください。

寄付いただきたい食品





- お米
- 缶詰・レトルト・インスタント食品
- パスタ・そうめんなどの乾麺
- のり・お茶漬け・ふりかけなど
- お菓子・調味料・飲料など

（常温保存／賞味期限が２ヵ月以上のもの）

寄付いただけないもの

- 賞味期限が掲載されていないもの
- 要冷蔵保存のもの
- 冷凍食品
- 医薬品　など

お知らせコーナー

シン・みんなのふくしまつり
「中津でつなぐ笑顔の輪」

と　き：2026年11月8日（日）10時～14時

ところ：中津市教育福祉センター＆プレーパーク

今年も「シン・みんなのふくしまつり」では、子どもも大人も楽しめる催しがたくさん♬
笑顔あふれるひとときを過ごしませんか。

主な内容

地域のサロン等によるバザー　ミニ縁日
ふわふわ遊具　コンポスト展示　キッチンカー
東九州龍谷高校のお弁当づくり

くろかんくんと
もみじちゃんも
遊びに来るよ！



体験コーナー

福祉車両や次世代型車いすの展示
みんなで楽しめるスポーツ
楽しく手話　防災VR
モノづくり　わたがしづくり



※駐車場は100台です。
お乗り合わせにご協力ください。

【表紙】三光児童館防災イベント“あそぼうさい”

8月5日（水）に三光コミュニティーセンターにて開催した三光児童館“あそぼうさい”の様子です。遊びを通して防災の知識を身につけることを目的とし、今年で3回目の開催となります。防災アドバイザーや自衛隊の方々のご協力のもと、煙体験やロープワーク、水消火器の体験などをしたほか、今年は地域の方にカレーの炊き出しのご協力をいただき、ビニール炊飯で炊いたご飯と一緒に食べました。